

2024年3月14日

国内の洋紙発祥の地 東京都北区に 100%紙製のゴールネットを設置

国際紙パルプ商事株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：栗原 正、以下、当社）は、グループ会社の王子ファイバー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：平井 雅一）が製造・販売するかみのいと「OJ0+」を100%使用したゴールネットを、東京都北区の区立浮間子どもスポーツ広場に設置したことをお知らせします。環境配慮型の新素材製品のため、まずは子ども用サッカー場から導入し、2年後には成人用、アスリート用のフィールドへの展開を目指します。

設置したゴールネットは、少年用サッカーゴールの大きさ（幅5メートル、高さ2.1メートル）に合わせたサイズで、2023年12月に設置し、練習や試合で使用されています。当社では、これまでもポリエステルと組み合わせたハイブリッドタイプの紙製ゴールネットを展開しておりますが、当該のネットは100%紙製でもサッカー場での使用に耐えられるよう、紙糸をロープ状に束ねて強度を出し、ゴール内の視認性を損なわない程度に増量して使用しております。

ゴールネットを設置したグラウンドがある北区は、「日本資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一が国内初の製紙工場を設立したことで知られます。今回の100%紙製のゴールネットは、一般社団法人東京都北区サッカー協会とともに設置しました。



<本件に関するお問い合わせ先>

国際紙パルプ商事株式会社 コーポレート・コミュニケーション室

TEL: 03-3542-4169 email: kpp_cc@kpp-gr.com